

平成25事業年度財務諸表等の公表について

平成26年10月15日
国立大学法人一橋大学

1. はじめに

平成25事業年度の財務諸表等については、9月25日付けで文部科学大臣より承認されました。

この財務諸表は、企業会計原則に基づきつつ、国立大学法人固有の会計処理を加味した、国立大学法人会計基準及びその実務指針等に従って作成しています。

2. 財務諸表の概要について

(財政状況)

① 資産

資産総額は177,210百万円で、前年度比1,042百万円の増加となっています。これは、国際学生宿舎景明館の新営や第2研究館及び体育館・武道場の改修等により資産額が336百万円増加したことや、基金による寄附金収入等などにより現金及び預金が523百万円増加したことが主な要因です。

② 負債

負債総額は23,070百万円で、前年度比1,178百万円の増加となっています。これは、固定資産を新規に取得したにより資産見返負債が373百万円増加したことや、基金の受入額の増加などにより長期寄附金債務及び寄附金債務について636百万円増加したことが主な要因です。

③ 純資産

純資産総額は154,140百万円で、前年度比136百万円の減少となっています。これは、政府出資の固定資産に係る減価償却費が増加したことに伴い、損益外減価償却累計額が991百万円減少したことが主な要因です。

(運営状況)

④ 費用

費用総額は10,872百万円で、前年度比284百万円の増加となっています。これは、退職者数の増加に伴う退職手当の増加等により人件費が133百万円増加したことや、景明館の新営、国立キャンパス体育館・武道場の改修などにより教育経費が184百万円増加したこと、またAERAムックの刊行、ライフライン再生工事及びPCB廃棄物の処理費用の引当金計上等により一般管理費が69百万円増加したことなどが主な要因です。

⑤ 収益

収益総額は10,934百万円で、前年度比235百万円の増加となっています。これは、運営費交付金収益が退職手当分の増加等により112百万円増加したことや、受入額の増加に伴い施設費収益が218百万円増加したことが主な要因です。

⑥ 当期総利益

随意契約の見直しや、複数年契約の拡充等、効率的な事業の実施による経費節減などの影響により64百万円の当期総利益となっています。

3. おわりに

国立大学法人は運営の基盤となる運営費交付金の交付を受けておりますが、毎年課されている減額措置(△1%)の影響等により、厳しい財政状況に置かれております。

このような状況の中で、適正な法人運営を実現するために、業務運営の合理化・効率化等をより一層推進させ、業務改善に努めて参ります。

II 財務諸表のデータによる対前年度比較

貸借対照表 B/S(Balance Sheet)

期末における資産、負債及び純資産の残高を示し、本学の財政状態を表すもので、表の左側で元手資金をどのような形で運用しているのかを表し、右側で元手資金をどのような方法で集めているのかを表しています。

科目	(単位：千円)		増減
	平成24事業年度	平成25事業年度	
【資産の部】			
I 固定資産	172,634,383	172,489,317	△145,066
1 有形固定資産	168,959,041	169,507,631	548,589
土地	134,504,510	134,504,510	-
● 建物	18,791,175	19,127,071	335,896
● 構築物	537,807	717,673	179,866
● 工具器具備品	377,306	445,477	68,171
● 図書	13,819,094	13,961,109	142,015
美術品・收藏品	748,154	748,547	394
船舶	501	335	△166
車両運搬具	0	0	0
● 建設仮勘定	180,495	2,909	△177,587
2 無形固定資産	237,386	165,236	△72,150
● ソフトウェア	234,876	163,047	△71,829
電話加入権	845	845	-
● その他無形固定資産	1,665	1,344	△321
3 投資その他の資産	3,437,955	2,816,450	△621,506
● 投資有価証券	3,437,181	2,815,438	△621,743
● 差入敷金・保証金	739	976	238
● 預託金	35	35	-
II 流動資産	3,533,289	4,720,204	1,186,915
● 現金及び預金	3,345,483	3,868,867	523,384
● 未収学生納付金収入	40,057	32,360	△7,698
● うち徴収不能引当金	△4,822	△1,603	3,219
● 未収入金	113,440	159,204	45,764
● 有価証券	20,252	628,516	608,264
● 前払費用	14,866	20,863	5,997
● 立替金	3,820	11,997	8,177
● 仮払金	193	-	△193
資産の合計	176,167,672	177,209,521	1,041,849

科目	(単位：千円)		増減
	平成24事業年度	平成25事業年度	
【負債の部】			
I 固定負債	18,858,875	18,571,974	△286,901
● 資産見返負債	15,217,112	15,590,560	373,448
● 長期寄附金債務	3,427,608	2,805,172	△622,436
● 引当金	10,703	31,056	20,352
● 退職給付引当金	10,703	10,988	284
● 環境対策引当金	-	20,068	20,068
● 資産除去債務	136,679	145,186	8,507
● 長期リース債務	66,772	-	△66,772
II 流動負債	3,032,739	4,497,654	1,464,915
● 運営費交付金債務(※)	182,002	128,625	△53,377
● 預り補助金等	2,835	-	△2,835
● 寄附金債務(※)	1,271,391	2,529,370	1,257,979
● 前受受託研究費等	13,926	27,521	13,595
● 前受受託事業費等	68,634	47,122	△21,512
● 前受金	11,696	2,030	△9,666
● 預り科学研究費補助金等	45,367	90,275	44,908
● 預り金	285,913	223,901	△62,012
● リース債務	76,539	66,772	△9,767
● 未払金	1,072,109	1,381,182	309,073
● 引当金	2,326	854	△1,472
● 賞与引当金	2,326	854	△1,472
負債の合計	21,891,614	23,069,627	1,178,014
【純資産の部】			
I 資本金	157,843,538	157,843,538	-
● 政府出資金	157,843,538	157,843,538	-
II 資本剰余金	△4,673,823	△4,473,563	200,260
● 資本剰余金	6,641,313	7,834,488	1,193,174
● 損益外減価償却累計額(-)	△11,213,237	△12,203,927	△990,691
● 損益外減損損失累計額(-)	△84,339	△84,339	-
● 損益外利息費用累計額(-)	△17,561	△19,785	△2,223
III 利益剰余金	1,096,771	759,653	△337,118
● 前中期目標期間繰越積立金	614,035	431,149	△182,886
● 教育研究の質の向上及び組織運営の改善積立金	362,805	264,959	△97,846
● 当期末処分利益	119,931	63,545	△56,386
● (うち当期総利益)	(119,931)	(63,545)	(△56,386)
IV その他有価証券評価差額金	9,573	10,266	693
純資産の合計	154,276,058	154,139,893	△136,165
負債・純資産の合計	176,167,672	177,209,521	1,041,849

- 運営費交付金・寄付金・補助金等の財源で取得した固定資産の見合いで計上され、減価償却に伴い、資産見返負債戻入に振り替えられる
- H26年度に満期が到来する債券額を長期寄附金債務から寄附金債務に振り替えた(△628,516千円)ことなどによる減
- PCB廃棄物の処理費用にかかる引当金の計上
- 期間の経過に伴い、長期リース債務をリース債務に振り替えたことによる減
- 学内プロジェクトの繰越件数及び繰越額の減
(H24：7件・83,764千円、H25：2件・22,050千円)
- 基金による寄附金収入(+533,509千円)及びH26年度に満期が到来する債券金額を長期寄附金債務から寄附金債務に振り替えた(+628,516千円)ことなどによる増
- 翌事業年度への繰越額の増
- 翌事業年度への繰越額の減
- 科学研究費補助金等の基金分の増
- 外部資金返還分の減
- 3月竣工の工事に係る未払金及び翌事業年度に支出予定の退職手当額が増したことなどによる増
- 施設費補助金(+918,593千円)、目的積立金(+217,777千円)及び前中期目標期間繰越積立金(+181,308千円)を財源として取得した固定資産の増
- 政府出資の固定資産に係る減価償却の計上等による減
- 第1期中期目標期間から繰り越された積立金の期末残高
- 景明館の新設による取り崩し
- 平成22~24事業年度の剰余金から生じた目的積立金の期末残高
- 平成24年度剰余金による増の一方で、景明館の新設、国立キャンパス体育館・武道場及び陸上競技場の改修による取り崩し
- 効率的な事業の実施による経費節減などの影響による利益の計上

(※) 運営費交付金債務・寄附金債務

運営費交付金及び寄附金等は、受領時に収益ではなく債務として流動負債へ計上します。これは、教育や研究など、交付額や受領額に見合う一定の事業を実施する責務を負っていることによります。これらの債務は、期間の経過や事業のための支出額等に伴い、収益化されます。

損益計算書 P/L(Profit & Loss Statement)

一会計期間に費用、収益がどれだけ発生したかを表し、本学の運営状況を明らかにするもので、本学が、教育・研究等の業務を実施した費用をどの財源（収益）で賄ったのかを表しています。

(単位：千円)

科目	平成24事業年度	平成25事業年度	増減
I 経常費用	10,587,019	10,871,166	284,147
業務費	9,855,934	10,066,914	210,980
● 教育経費	1,306,846	1,490,626	183,780
● 研究経費	850,340	797,147	△53,193
● 教育研究支援経費	573,791	529,788	△44,002
● 受託研究費	24,855	18,155	△6,700
● 受託事業費	238,334	236,103	△2,231
● 人件費	6,861,768	6,995,094	133,327
● 一般管理費	725,409	794,183	68,774
● 財務費用	4,381	4,268	△113
● 支払利息	4,270	2,565	△1,705
● 為替差損	111	1,703	1,592
● 雑損	1,294	5,801	4,507
II 臨時損失	1,054	1,017	△37
● 固定資産除却損	1,054	1,017	△37
費用計	10,588,072	10,872,183	284,110

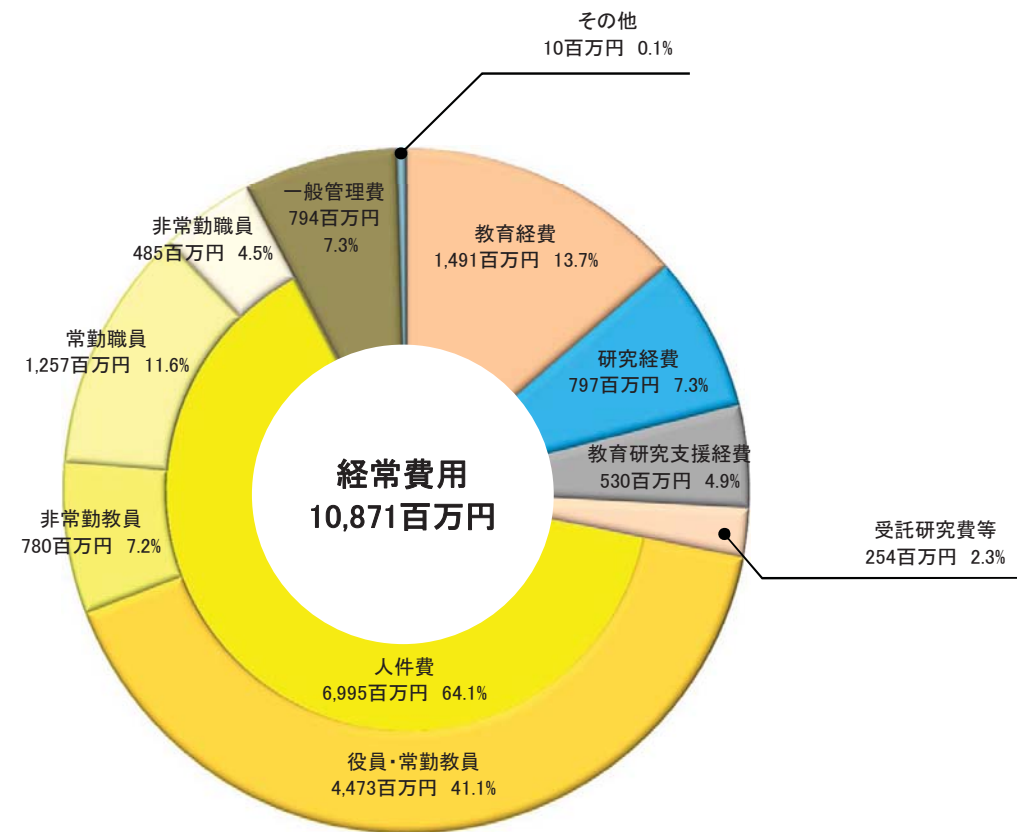
海外語学留学調査 (+72,438千円) 景明館の整備 (+23,722千円)、基金による奨学金 (+27,334千円)、体育館の改修 (+19,810千円) 及び四大学連携のための整備 (+23,181千円) 等による増

第2研究館の改修 (+41,482千円)、卓越した大学院拠点 (+44,054千円) 等による増
G-COEの終了 (△130,071千円) 等による減

附属図書館の集密書架の修理 (+96,075千円)、小平研究保存図書館の整備 (+29,039千円) 等による増の一方で、H24年度にイノベーション研究センター資料室の閉鎖に伴う図書除却 (△187,840) を行った影響等による減

退職者数の増加に伴う退職手当 (+82,646千円) の増加等による増

AERAムックの刊行 (+18,375千円)、ライフライン再生工事 (+19,370千円)、PCB処理費用の引当金計上 (+20,068千円) 等による増



(単位：千円)

科目	平成24事業年度	平成25事業年度	増減
I 経常収益	10,698,217	10,933,133	234,916
● 運営費交付金収益	5,172,073	5,283,929	111,856
● 授業料収益	2,941,489	3,016,802	75,313
● 入学金収益	451,228	456,473	5,245
● 検定料収益	112,698	114,475	1,777
● 受託研究等収益	24,855	18,155	△6,700
● うち国又は地方公共団体以外からの受託研究等収益	24,855	18,155	△6,700
● 受託事業等収益	243,963	240,723	△3,240
● うち国又は地方公共団体からの受託事業等収益	-	800	800
● うち国又は地方公共団体以外からの受託事業等収益	243,963	239,923	△4,040
● 補助金等収益	386,931	274,519	△112,412
● 寄附金収益	496,667	576,518	79,850
● 施設費収益	59,728	277,842	218,115
● 資産見返負債戻入	404,942	232,481	△172,461
● 財務収益	355	438	84
● 受取利息	355	438	84
● 雑益	403,288	440,776	37,489
II 臨時利益	1,054	1,017	△37
● 資産見返負債戻入	1,054	1,017	△37
収益計	10,699,270	10,934,150	234,879

復興関連事業に係る費用の計上 (+44,730千円) 及び退職手当予算の増加 (+61,040千円) 等による増

授業料を財源とする固定資産購入額が減少したことなどによる増 (会計取扱において、相当額は当期の損益計算上の収益から除外される)

COEプロジェクトの終了 (△130,071千円) 等に伴う補助金財源の費用計上額 (収益額は費用額の見合いで計上) の減少等による減

寄附金を財源とする費用計上額 (収益額は費用額の見合いで計上) の増加等による増

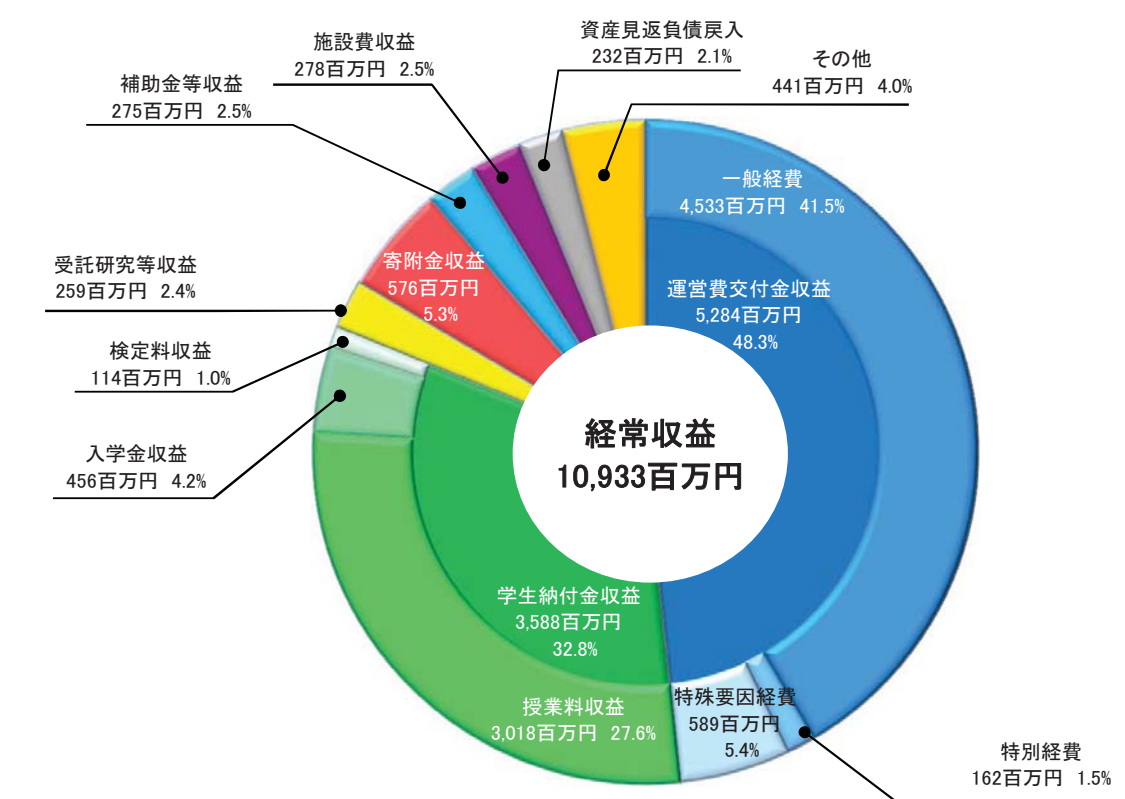
老朽対策等基盤整備事業 (+57,491千円)、制震機能を有する集密書架の設置及び図書保存環境の整備 (+120,569千円) 等による増

平成24年度はイノベーション研究センター資料室の閉鎖に伴い、多額の図書を除却 (△187,840千円) したため、資産見返負債戻入が増加したが、当年度はそれが計上されなかった影響等による減

一橋講堂に係る収入 (+20,981千円) 及び科学研究費補助金の間接経費収入 (+11,501千円) 等による増

効率的な事業の実施による経費節減などの影響による利益の計上

当期純利益 (収益計 - 費用計)	111,198	61,967	△49,231
目的積立金取崩額	8,733	-	△8,733
前中期目標期間繰越積立金取崩額	-	1,578	1,578
当期総利益 (当期純利益 + 目的積立金取崩額 + 前中期目標期間繰越積立金取崩額)	119,931	63,545	△56,386



キャッシュ・フロー計算書

一会計期間の資金（キャッシュ）の流れ（フロー）を一定の活動別に区分して表すもので、「貸借対照表」や「損益計算書」からは読み取ることができない、実際の資金の流れや過不足を表します。

(単位：千円)

科目	平成24事業年度	平成25事業年度	増減
I 業務活動によるキャッシュ・フロー			
● 原材料、商品又はサービスの購入による支出	△2,145,482	△2,441,092	△295,610
● 人件費支出	△7,274,590	△6,971,325	303,265
● その他の業務支出	△625,008	△678,575	△53,567
● 運営費交付金収入	5,309,299	5,483,450	174,151
● 授業料収入	2,902,427	2,894,402	△8,026
● 入学金収入	445,081	447,918	2,837
● 検定料収入	112,698	114,475	1,777
● 受託研究等収入	15,400	17,801	2,401
● 受託事業等収入	219,918	211,368	△8,551
● 補助金等収入	418,248	368,336	△49,913
● 補助金等の精算による返還金の支出	△10,801	△14,750	△3,948
● 寄附金収入	829,950	1,144,612	314,662
● その他収入	403,305	433,255	29,950
● 預り金の増減	146,127	36,578	△109,549
● 小計	746,572	1,046,452	299,880
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
● 有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出	△1,093,492	△1,688,880	△595,388
● 施設費による収入	238,080	1,082,451	844,371
● 有価証券の取得による支出	△500,048	-	500,048
● 有価証券の売却・償還による収入	100,000	161,144	61,144
● 差入敷金の支払による支出	-	△151	△151
● 定期預金の払出による収入	5,903	30,000	24,097
● 利息及び配当金の受取額	355	438	84
● 投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,249,203	△414,997	834,205
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
● ファイナンス・リース債務の返済による支出	△74,793	△76,539	△1,747
● 利息の支払額	△4,270	△2,524	1,747
● 財務活動によるキャッシュ・フロー	△79,063	△79,063	
IV 資金にかかる換算差額			
● 資金増加(減少)額	△580,873	553,384	1,134,257
● 資金期首残高	3,886,357	3,305,483	△580,873
● 資金期末残高	3,305,483	3,858,867	553,384

利益の処分に関する書類（案）

損益計算書により算定された当期総利益（又は当期総損失）から、前期繰越欠損金の金額を差し引いて算定される当期未処分利益（又は当期未処分損失）の処分（又は処理）の内容を明らかにするために作成するものです。

(単位：千円)

科目	平成24事業年度	平成25事業年度	増減
I 当期未処分利益			
当期総利益	119,931	63,545	△56,386
前期繰越欠損金	-	-	-
II 利益処分額			
● 積立金	-	-	-
● 教育研究の質の向上及び組織運営の改善積立金	119,931	63,545	△56,386

当期未処分利益のうち、剰余金の繰越承認が得られない部分で、
①現金の裏付けが無いもの、
②現金の裏付けはあるが、制度面又は法人運営面において法人の経営努力によるものと考えることが困難なもの、の2つに大別される

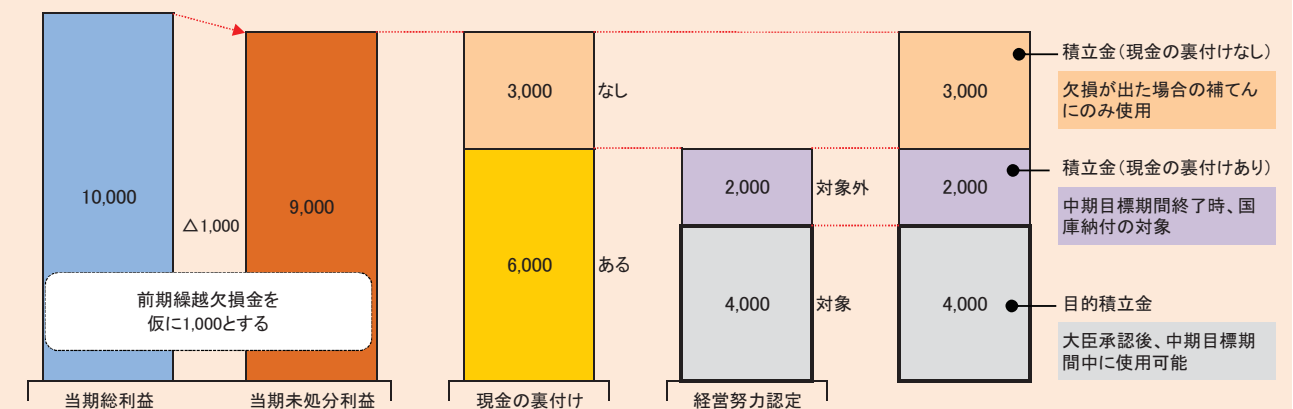
国立大学法人法第35条において準用する独立行政法人通則法第44条第3項により文部科学大臣の承認を得ようとする額

<参考>剰余金の繰越承認について

決算剰余金の翌事業年度への繰越に係る大臣承認(目的積立金)は、当期未処分利益のうち、経営努力によるもので現金の裏付けがあり、事業の用に供することが可能な額が対象となります。

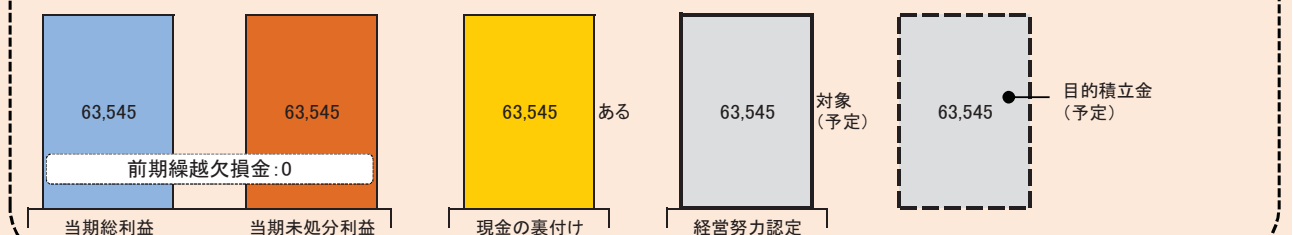
当期未処分利益 = 当期総利益 - 前期繰越欠損金

- 現金の裏付けなし = 積立金
- 現金の裏付けあり(経営努力認定外) = 積立金
- 現金の裏付けあり(経営努力認定) = 目的積立金



【本学の平成25事業年度の場合】

(単位：千円)



国立大学法人等業務実施コスト計算書

本学の教育・研究等の業務運営に要した費用（コスト）のうち、どれだけ国民の税金で賄われているかを「国立大学法人等業務実施コスト計算書」として表すもので、この計算書は、民間企業にはなく、独立行政法人や国立大学法人特有のものであります。

		(単位：千円)		
科目		平成24事業年度	平成25事業年度	増減
損益計算書上の費用から自己収入等（学生納付金等）を控除した相当額	I 業務費用	5,909,465	6,024,373	114,908
	(1) 損益計算書上の費用	10,588,072	10,872,183	284,110
景明館の整備、海外語学留学調査等により、教育経費が増加したことなどによる増	● 業務費	9,855,934	10,066,914	210,980
	● 一般管理費	725,409	794,183	68,774
	● 財務費用	4,381	4,268	△113
	● 雑損	1,294	5,801	4,507
AERAムックの刊行、ライフラインの再生工事等による増	● 臨時損失	1,054	1,017	△37
	(2) (控除) 自己収入等	△4,678,607	△4,847,810	△169,203
授業料を財源とする固定資産購入額が減少したことなどによる増（会計取扱において、相当額は当期の損益計算上の収益から除外される）	● 授業料収益	△2,941,489	△3,016,802	△75,313
	● 入学金収益	△451,228	△456,473	△5,245
	● 検定料収益	△112,698	△114,475	△1,777
	● 受託研究等収益	△24,855	△18,155	6,700
寄附金を財源とする費用計上額の増加に伴う収益の増	● 受託事業等収益	△243,963	△240,723	3,240
	● 寄附金収益	△496,667	△576,518	△79,850
一橋講堂に係る収入の増加等による増	● 雑益	△267,228	△293,215	△25,988
	● 財務収益	△355	△438	△84
	● 資産見返負債戻入	△139,071	△131,010	8,061
	● 臨時収益	△1,054	0	1,054
	業務費用合計	5,909,465	6,024,373	114,908
収益の上がらない資産の減価償却費等の相当額	II 損益外減価償却等相当額	1,128,818	1,117,812	△11,006
支払財源が運営費交付金である賞与引当金の増加見積相当額（前年度との差額を計上）	● 損益外減価償却相当額	1,126,629	1,118,148	△8,481
	● 損益外減損損失相当額	-	-	-
支払財源が運営費交付金である退職手当引当金の増加見積相当額（前年度との差額を計上）	● 損益外利息費用相当額	2,115	2,252	137
	● 損益外除売却差額相当額	73	△2,588	△2,661
国立大学法人であるために免除されている費用	● III 引当外賞与増加見積額	2,233	8,729	6,496
	● IV 引当外退職給付増加見積額	108,651	△468,983	△577,635
算定に使用する10年利付国債の利回りが上昇した影響による増	● V 機会費用	853,439	972,642	119,203
	● 国又は地方公共団体の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用	76	74	△2
	● 政府出資の機会費用	853,363	972,568	119,205
	VI (控除) 国庫納付額	-	-	-
	VII 国立大学法人等業務実施コスト	8,002,606	7,654,572	△348,034

決算報告書

国における会計認識の基準（現金主義＋出納整理期）に準じて作成することとされており、国立大学法人の運営状況の見みとその実績を表すものです。

具体的には、年度計画における予算額（文部科学省から示される運営費交付金算定上の予算額等を基に算定したもの）と実際に執行した決算額を対比しています。

(単位：千円)			
区分	予算額	決算額	差額（決算－予算）
収入			
運営費交付金	5,248,278	5,484,190	235,912
施設整備費補助金	1,099,297	1,172,344	73,047
補助金等収入	352,674	359,382	6,708
国立大学財務・経営センター施設費交付金	27,000	27,000	-
自己収入	3,936,071	3,908,908	△27,163
授業料、入学金及び検定料収入	3,533,230	3,460,839	△72,391
雑収入	402,841	448,069	45,228
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,181,578	1,483,781	302,203
目的積立金取崩額	202,691	400,663	197,972
計	12,047,589	12,836,268	788,679
支出			
業務費	9,387,040	9,714,745	327,705
教育研究経費	9,387,040	9,714,745	327,705
施設整備費	1,126,297	1,199,344	73,047
補助金等	352,674	333,672	△19,002
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,181,578	907,301	△274,277
計	12,047,589	12,155,062	107,473
収入－支出	-	681,206	681,206

予算積算にない国からの補正予算が措置されたことなどによる増

予算積算には含まれていない収入を計上したことによる増

授業料収入の減少等による減

一橋講堂の施設使用料収入の増加等による増

寄附金収入の増加等による増

目的積立金予算額の変更に伴う増

事業計画の変更等による増

予算積算には含まれていない支出を計上したことによる増

経費の削減等による減

寄附金事業の翌年度以降への繰越による減